

Bridges

【キズナプロジェクト】

3月に行われましたキズナ強化プロジェクト短期派遣に参加してきた生徒に、参加した感想を書いてもらいました。その一部を紹介致します。

【出発直前オリエンテーションに参加して】

- ルース駐日大使の講演を聞くことが出来たことは、非常に貴重な経験となった。
- 日本の高校とアメリカの高校の違いについての説明が、ホームステイ地で学校生活を体験した際に非常に役立った。

【震災の経験についての発表をして】

- 現地の人達が日本のことを大変良く思ってくれていることが分かった。
- 発表をしている時、現地の人がかうなずきながら聞いてくれていた。自分達の発表が伝わったと分かった。
- 被災者とアメリカの学生の人たちの間には、震災についての認識に大きな違いがあることが分かった。私たちは心の回復こそが復興だと考えているが、現地の人達の関心は津波の被害や瓦礫の処理に集まりがちだった。

【ミネソタ州ハーディング高校を訪問して】

- お互い高校生だったので、気軽に話すことが出来た。
- 実際の授業に参加することが出

来て、非常に刺激的だった。

- 授業の内容はユニークで、映画やドラマで見るような自由な雰囲気ではあるが、生徒の態度は非常に真剣で、衝撃を受けた。

【ホームステイを体験して】

- 3泊4日だけの交流だったので、短すぎて残念であった。
- 言葉がなかなか通じないこともあったが、お互いに理解しようとし、有意義な時間を過ごすことが出来た。

【政府関連機関を視察して】

- ワシントンDCでの視察の経験は、非常に貴重だった。

【全体の行程について】

- 移動が多くあり、体力的にきつかった。
- 現地のガイドさんが非常に親身になって接してくれた。英会話のレッスンもしてくれて、とても役に立った。
- 予定が直前に変更になることが多く、戸惑った。

【留学体験記】

今年度も海外留学を経験し学院に戻ってきた生徒がおります。

以下に、その体験記を載せます。

◎**當麻 君** (高校2年)

私は昨年(2012)の7月からYFU国際交流財団のexchange studentとして1年間アメリカへ留学してきた。

そこで私は新たな経験、そして自分を変えるきっかけを得た。

まず初めに私の留学について話そう。私はミネソタという内陸の州に留学した。そこは、数多くの湖、そして森が生い茂るとても美しいところだった。ミネソタは釣りや狩りがさかんなため、他の州の人々が集まり、釣りや狩りを行っている。そんなミネソタに住む、私のホストファミリーは、狩りなどが好きではない平和な家族だった。家はそこまで大きくないが、自然に囲まれたとても住みやすい家だった。家族は父が建築士で、母がスクールバスのオフィスマネージャーだった。そのため私は母と一緒に学校へ行っていた。彼らはとても親切でいつも私を助けてくれた。そして私を本当の家族のように接してくれた。わたしはその家族に恩返しをしようと手伝いなどを毎日欠かさずに行っていた。彼らはとても喜んでくれたし、それを見た私も嬉しい気持ちになれた。

学校はというと、一学年60人という小さな学校だった。そのため留学生が珍しく、生徒も先生もとても優しくかった。私はそこで秋にクロスカントリー部、冬にバスケットボール部、そして春には野球部に所属した。私の学校は入部試験がなかったため、すんなり入れることが出来た。授業は変わったものが多く、吹奏楽をやったり、

料理をしたりした。私はそこで多くの友達を作ることができた。その友達と私は毎日充実した日々を過ごしていた。

ここまでの話だと充実して楽しいことばかりに聞こえるだろう。だがしかし、初めは不安もあった。私は英会話を習っていたものの、英語が得意なわけではなかった。そのため、自分の英語に自信がなく、小声で話していた時期もあった。だがそれも初めのうち、環境に慣れてきたからか自信がなくとも英語を伝えようという気持ちになれた。そのため、相手も理解しようと努めてくれた。この不安を乗り越えたことで友達も増え、英語力もついたのでと思う。さらに、このような点を改善するきっかけを得られたことも留学のいい点だと思う。

私はその他にも数多くの経験をした。その一つ一つが私にとって重要かつ必要なことであったと思う。だが、一番大切なことは感謝の気持ちだ。一年間親のもとを離れていたため、初めて親の大切さに気付いた。そして、自分を家族の一員に入れてくれたホストの家族、友達、学校。私はすべての人に支えられていることがわかった。その人々の支えのおかげで留学を無事に成功させられた。自分をここまで大きくしてくれた留學生活に感謝している。この恩をすべて返すことはきっとできないだろう。だが、この留学で得たことを生かし、これから様々な人々を助けていきたい。本当に感謝している。ありがとう。

【ホストファミリー体験記】

5月に、学院大学で受け入れている留学生のホストファミリーとして協力してくれた本校生がいます。

海外研修や留学に行けなくても、このような方法で学ぶことは皆さんのプラスになるのではないのでしょうか。

今後も募集があると思いますので、皆さんも是非、このような機会を積極的にいかして欲しいと思います。

以下に、その体験記を載せます。

◎相澤(堅) 君 (高校2年)

私の家(正確には祖父の家)でホームステイをしたのはリャンという留学生でした。彼女は中国出身ですが、英語が上手で、私達とも英語、日本語、中国語でコミュニケーションをとってくれました。最初は、会話や生活の面など色々と不安なこともありましたが、しかし、フレンドリーで積極的なリャンと打ち解けるのに時間はかかりませんでした。

日本での生活の仕方を教えることは多くても、逆に考え方や英語の発音、使い方などで学ぶことがたくさんありました。

リャンが一人で大学の授業に行っていたのもすごいと思います。何事も積極的で、宿題をしたり、読書をしたり、時間のあるときは家事を手伝ってくれたりしました。私が会いにいくと、家族のこと、勉強のこと、将来のことなどいろんな話をしてくれて楽しかったです。

また、リャンは歴史に興味があるということで、休日には石巻のサン・ファン・パウティスタ号を見に行ってきた。たまには外食をして、日本のレストランを体験してもらいました。

私はこの経験を通して、育った環

境が違って、言葉や文化が違っていても、「相手を理解しようとする気持ち」があればコミュニケーションはとれるものだと改めて学ぶことができました。また、英語を勉強しようという気持ちも高まり、とても貴重な体験をすることができました。

【第30回海外研修について】

第30回海外研修が夏季休業中に実施されます。参加する生徒諸君はこれまで事前研修を精一杯行ってきました。現地での体験を有意義なものとし、今後の生活にいかして欲しいと願っております。詳細については、学校HP等をご覧ください。

また、次年度以降もより充実したプログラムを検討していきたいと考えております。興味のある生徒・保護者の方々がいらっしゃいましたらどうぞお気軽に、国際交流委員までお問い合わせください。

【留学生がやってきます】

夏休み明けより、本校にニュージーランドから留学生がやってきます。5年G組に所属し、1月まで一緒に活動します。学校で会った際は是非声をかけてください。

引き続きホストファミリーを募集しておりますので興味のある方は問い合わせ下さい。

【英会話教室予定(年内)】

9月2日、10月7・17・24日、11月11日、12月2・9・16日(月曜日)
・基本的に毎週月曜日に行っています。英会話講師のケヴィン先生と国際交流委員の先生が指導にあたります。事前申し込み不要なので是非参加して下さい。